令和８年度入学式　式辞

清流長良川の水面は陽春の光に輝き、盛りを過ぎた早田川の桜は、次の季節へと歩みを進め、まるで、これから新しい一歩を踏み出す皆さんの背中を押すかのようです。

この良き日に、本校ＰＴＡ会長　飯尾龍也　様をはじめ、ご来賓の皆様方、そして保護者の皆様方のご臨席を賜り、令和八年度岐阜県立岐阜北高等学校入学式を挙行できますことを、高いところからではございますが、心より御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました三二〇名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

職員及び在校生一同、皆さんのご入学を心より歓迎します。

いま、皆さんの胸は、入学の喜び、そしてこれから始まる高校生活への大きな期待で満ちあふれていることでしょう。

多くの受験生が憧れる岐阜北高校に、皆さんは見事合格しました。今ここに北高の制服を着て入学式に参加している自分を、ぜひ誇りに思ってください。同時に、皆さんを導いてくださった中学校の先生、一緒に勉強した仲間たち、そして何より、皆さんの日々の生活を陰ひなたとなって支えてくださったご家族の方々への感謝の気持ちを、どうか忘れないでください。

今日から岐阜北高校の第一歩を踏み出す皆さんに取り組んでいただきたいことを、お話します。

まず、一つ目は、生活すべてにおいて、「主体的な学び」を意識してほしいということです。これからの時代は、単に知識を蓄える力だけでは通用しません。常識やしきたりにとらわれず、探究心をもって生活し、見出した問いに対して、仲間と協働しながら主体的に取り組む姿勢が常に求められます。この三年間でぜひ、主体的な学びを身に付けてください。

二つ目は、お互いを高め合うことができる人との絆を築いてほしいということです。本校では、勉学はもちろん、部活動や生徒会活動、球技大会や文化祭・体育祭など、学級や学年を超えて関わる多くのシチュエーション（機会）があります。その中で、仲間や友人と切磋琢磨し、失敗や成功を重ねながら、自らの将来の生き方を考えることは、皆さんを成長させ、人生を豊かなものにします。それは、生涯の、かけがえのない財産となるはずです。

最後に、正面左手をご覧ください。本校の校訓が掲げられています。

「変わらぬ色の三つ柏　若き生命　高き志操ペンの象る英知をもちてー」

この言葉は、時代が移ろう中にあっても変わらぬ本質を大切にし、若き力あふれる皆さんが、高い志と節度を持ち、学びの象徴であるペンに込められた英知をもちて、自らの道を切り拓いていく、という願いが込められています。そして、この校訓は、「もちてー」と、続きを明言せずに結ばれています。「若き生命」「高き志操」「英知」を身に付けて、どう生きるのか。これからの三年間で、皆さん一人一人が、この続きとなる言葉を埋めていってください。

さあ、新入生の皆さん、高い志を持って学んでください。そして、仲間や先輩、先生方とともに、自分らしい生き方を見つけ、夢を実現してください。

結びになりますが、保護者の皆様におかれましては、お子様の晴れの入学式を迎えられことに対し、心よりお祝い申し上げます。

本校としましても大切なお子様を三年間お預かりすることに対し、身の引き締まる思いがするとともに、精一杯努力していく所存でございます。何卒、本校の教育方針にご理解を頂き、様々な教育活動に対しご支援、ご協力をいただきますことを心よりお願い申し上げます。

新入生の皆さんの高校生活が実り多きものになることを願い、令和八度入学式の式辞といたします。

令和８年４月８日

岐阜県立岐阜北高等学校

校長　　上田　和伸